

令和元年 第5回（12月） 筑紫野市議会定例会  
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

『議案第60号 令和元年度筑紫野市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

執行部からは、歳入歳出をそれぞれ4,014万3千円補正増し、歳入歳出予算額をそれぞれ66億3,751万5千円とするものであり、補正の主な内容は、歳出については、高額介護サービス費のひと月の対象人数が平均約40人増えたことによる3,328万4千円の補正増などであり、歳入についても、高額介護サービス費等が増えたことによる、国県支出金等の2,611万4千円の補正増などである、との説明がありました。

また、債務負担行為の補正として介護予防・日常生活支援総合事業委託など10件を計上しています。

委員会では、債務負担行為補正のひとつである生活支援体制整備事業委託の詳細について質疑があり、執行部からは、社会福祉協議会に委託しており、生活支援コーディネーターが社会資源の把握のため各コミュニティ等を訪問しているとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和元年 第5回（12月） 筑紫野市議会定例会  
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

『議案第67号 令和元年度筑紫野市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本件は、令和元年人事院勧告に基づく給与改定に伴うものであり、歳入歳出それぞれ47万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ66億3798万6千円とするものである、との説明を執行部から受けました。

質疑、討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和元年 第5回（12月） 筑紫野市議会定例会  
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

『請願第1号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る請願』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

委員会ではまず、本件に関する現状等について執行部から、令和2年度より完全実施となる新小学校学習指導要領に基づき、5、6年生は外国語科が新設されることになり、従前の外国語活動と比較して、授業時間数が年間で35時間、週あたりで1時間の増加となるため、ほぼ毎日6時間の授業となることから、教職員の授業準備等の時間の捻出が大変厳しい状況になるとの説明を受けました。

また、現在、学校では、児童生徒を取り巻く環境等が複雑化、多様化しており、少人数学級実施に必要な教職員定数に改善されれば、より安定した学級運営が行われると考えられることから、教職員定数等の充実、改善について、本年、福岡県市長会へ議案を提出している、との説明を受け、審査を行いました。

意見、討論はなく、採決の結果、全員一致をもって採択すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。